KDD Remote Sync by moconavi

管理者用マニュアル

- インストール編 -

Version 1.51

2014年10月1日

KDDI 株式会社

目次

1	ソフトウェアのダウンロード2
2	OpenVPN クライアントインストール4
3	OpenVPN 設定12
4	OpenVPN の起動と接続13
5	OpenVPN の切断16
6	OpenVPN の自動起動設定17
7	アダプタ稼動設定21
8	アダプタ起動設定27
9	Windows ファイアウォール設定28
10	コネクタ稼動設定32
11	トラブルシューティング44

1 ソフトウェアのダウンロード

KDDI Remote Sync by moconavi のソフトウェアを以下のサイト(以下では、管理者 Web サイ

トと称します)よりダウンロードしてください。

・2013年1月31日以前に契約された方

URL: https://grw-admin.moconavi.biz/krs_web/Company.do

・2013年2月1日以降に契約された方(旧料金プランから新料金プランに移行された方含む)

URL: https://krs-admin.kddi.com/krs_web/Company.do

開通通知書に記載のアカウント情報(契約番号、管理者用 ID、パスワード)を元に、管理者
 Web サイトへログインしてください。



▶管理者一覧		ダウンロ	コード		
×£	内容	バージョン	公開日	備考	ダウンロード
	マニュアルー式	-	2012/10/12	zip:35.8MB	Download
► XX9-F	中維PCソフト許諾規約	-	2011/11/21	pdf:122KB	Download
▶認証設定	中維PCソフトー式(32bit)	1.9.0	2013/6/21	zip:90.0MB	Download
	中維PCソフトー式(64bit)	1.9.0	2013/6/21	zip:82.5MB	Download
▶ バスワードボリシー	OpenVPN鍵ファイル	-	2013/6/21	zip:2.9KB	Download
▶ アブリ動作設定	Adapterポート番号	-	2013/6/21	txt	Download
▶ ファイル変換設定					
▶ サービス設定雑形					
▶ アダブタ設定					
▶ダウンロード					
▶ ユーザー覧					
▶一括登録					
▶ 利用状況					
▶メールリンク設定					
▶ 機能抑制設定					
▶画面キャブチャ履歴					
▶ ブランディング					
▶ ログアウト					

②左側の「ダウンロード」ボタンをクリックし、表示された右側の画面より、必要なソフトウェ

アをダウンロードしてください。

ダウンロード可能ファイル一覧

マニュアルー式	管理者およびエンドユーザ用のマニュアル一式
中継 PC ソフト許諾規約	中継ソフトウェアをご利用する上での規約
中継 PC ソフト一式(32bit)	32bit マシンをご利用の方はこちらをダウンロード
中継 PC ソフト一式(64bit)	64bit マシンをご利用の方はこちらをダウンロード
OpenVPN 鍵ファイル	中継PCインストール時に必要な鍵ファイル
Adapter ポート番号	中継PCインストール時に必要なポート番号

中継PCソフトー式(32bit)をダウンロードし解凍した場合、以下のファイルが展開されます。

以降、便宜のため、当フォルダを、「ソフトウェアトップフォルダ」と呼びます。

ExchangeConnector	
KDDI Remote Sync	
moconaviBrW	
OpenVPN_conf	
jdk-6u17-windows-i586.exe	
openvpn-2.1.1-install.exe	



い。

以降のインストール作業は、ローカルコンピュータの管理者権限を有するユーザで行ってくださ

2 OpenVPN クライアントインストール

①ソフトウェアトップフォルダ中の openvpn-2.1.1-install.exe (OpenVPN クライアントインス

トーラ)をダブルクリックしてインストールを開始します。



②ライセンス同意画面に遷移しますので「同意する」をクリックします。

🞧 OpenVPN 2.1.1 セットアップ 📃 🗔 💌			
のPENVPN ライセンス契約書 OpenVPN 2.1.1 をインストールする前に、ライセンス条件を確認してください。			
[Page Down]を押して契約書をすべてお読みください。			
OpenVPN (TM) An Open Source VPN daemon			
Copyright (C) 2002–2009 OpenVPN Technologies, Inc. <sales@openvpn.net></sales@openvpn.net>			
This distribution contains multiple components, some of which fall under different licenses. By using OpenVPN or any of the bundled components enumerated below, you agree to be bound by the conditions of the license for			
契約書のすべての条件に同意するならば、「同意する」を選んでインストールを続けてください。OpenVPN 2.1.1 をインストールするには、契約書に同意する必要があります。			
Nullsoft Install System v2.44 く戻る(B) 同意する(A) キャンセル			

③インストールコンポーネント選択画面に遷移しますので、そのまま「次へ」をクリックします。

○ OpenVPN 2.1.1 セットアップ	-		
⑦PENVPN [−]	ンボーネントを選んでください。 OpenVPN 2.1.1 のインストール オプションを選んでください。		
インストール/アップグレードするコンポーネントを選択してください。実行中の OpenVPN プロセス、 OpenVPN サービスは停止されます。すべてのDLLがローカルにインストールされます。			
インストール コンボーネントを選 択:	 ✓ OpenVPN User-Spaceコンポーネント ✓ OpenVPN GUI ✓ OpenVPN RSA 証明書管理用スクリプト ✓ OpenVPN サービス ✓ OpenVPN ファイルの関連付け ✓ OpenSSL DLLs 		
必要なディスクスペース: 3.9MB	コンボーネントの上にマウス カーソルを移動すると、ここに説明 が表示されます。		
Nullsoft Install System v2.44			
	< 戻る(B) 次へ(N)> キャンセ	N	

④インストールフォルダ設定画面に遷移しますので、「インストール」をクリックします。

💮 Open VPN 2.1.1 セットアップ	-	
OPENVPN	インストール先を選んでください。 OpenVPN 2.1.1 をインストールするフォルダを選んでください。	
OpenVPN 2.1.1 を以下のフォル 照] を押して、別のフォルダを選 下さい。	/ダにインストールします。異なったフォルダにインストールするには、「参 選択してください。 インストールを始めるには [インストール] をクリックし1	5
- インストール先 フォルダ <mark>D:¥Program Files¥OpenVP</mark>	N. 参照(<u>R</u>)	
∟ 必要なディスクスペース: 3.9M 利用可能なディスクスペース: Nullsoft Install System v2.44 ―	IB 7.9GB <戻る(B) インストール キャンセ	

⑤インストールが開始されます。

)OpenVPN 2.1.1 セットアップ 📃 🖂 🖂
PENVPN インストール OpenVPN 2.1.1 をインストールしています。しばらくお待ちください。
抽出:icon.ico 100%
抽出: tapinstall.exe 100% 出力先フォルダ: C.¥Program Files¥OpenVPN¥driver 抽出: OemWin2k.inf 100% 抽出: tap0901.cat 100% 力ォルダの作成: C.¥Documents and Settings¥Administrator¥スタート メニュー¥プログラム¥Open フォルダの作成: C.¥Documents and Settings¥Administrator¥スタート メニュー¥プログラム¥Open ショートカットの作成: C.¥Documents and Settings¥Administrator¥スタート メニュー¥プログラム¥Open ショートカットの作成: C.¥Program Files¥OpenVPN 抽出: INSTALL-win32.txt 100% 抽出: license.txt 100%
Nullsoft Install System v2.44

x



OS によっては次のようなダイアログが表示されることがありますが、「続行」あるいは「インス

トール」をクリックして下さい。

ハードウェア	のインストール			
<u>!</u>	このハードウェア: TAP-Win32 Adapter V を使用するためにインスト dows との互換性を検証 くのテストが重要である インストールを続行した が不安定になるなど、 ます。今すぐインストー トウェアが入手可能か Microsoft は強くお割	タ ールしようとしているソフト Eする Windows ロゴ テス 理由) を場合、システムの動作 重大な障害を引き起こ ルを中断し、Windows どうか、ハードウェア へい 助めします。	ウェアは、このバージョンの Win トに合格していません。 「が損なわれたり、システム す要因となる可能性があり こ ロゴ テストに合格したソフ ンダーに確認されることを、	
			ANTENOLER	
💽 Windov	ws セキュリティ			•
このデバー	イス ソフトウェアをインス	トールしますか?		
2	名前: TAP-Win32 Provider 発行元: OpenVPN, Inc.	V9 ネットワーク アダプ	ター	
"Ope する	enVPN, Inc." からのソフト (<u>A</u>)	ウェアを常に信頼	インストール(<u>I</u>)	インストールしない(<u>N</u>)
 ・ ・	する発行元からのドライバ- ソフトウェアを判断する方	- ソフトウェアのみをイ 法	ンストールしてください。 <u>安</u>	<u> 全にインストールできるデバ</u>



🞧 OpenVPN 2.1.1 セットアップ
のPENVPN インストールの完了 インストールに成功しました。
完了
フォルダの作成:C*Documents and Settings¥Administrator¥スタート メニュー¥プログラム¥Open フォルダの作成:C*Documents and Settings¥Administrator¥スタート メニュー¥プログラム¥Open ショートカットの作成:C*Documents and Settings¥Administrator¥スタート メニュー¥プログラム¥O ショートカットの作成:C*Documents and Settings¥Administrator¥ズタート メニュー¥プログラム¥O ショートカットの作成:C*Documents and Settings¥Administrator¥ズタート メニュー¥プログラム¥O ショートカットの作成:C*Documents and Settings¥Administrator¥スタート メニュー¥プログラム¥O アンインストーラの作成:C*Program Files¥OpenVPN¥Uninstall.exe 完了
Nullsoft Install System v2.44
< 戻る(B) (次へNV) キャンセル

⑥インストールが完了すると次の画面に遷移しますので「次へ」をクリックします。

⑦「Readme を開く」のチェックを外して「完了」をクリックします。

OpenVPN 2.1.1 セットアップ	
	OpenVPN 2.1.1 セットアップ ウィザードは完了 しました。 OpenVPN 21.1 は、このコンピュータにインストールされました。 ウィザードを閉じるには [完了] を押してください。
	< 戻る(目) 完了(E) キャンセル

⑧デスクトップに「OpenVPN GUI」のショートカットが作成されたことを確認してください。



■ Windows7/Windows Server 2008 R2 の場合

OpenVPN GUI を右クリックしてプロパティを選択します。 画面は Windows Server 2008 R2

のものですが、Windows7 も同様の操作になります。



互換性タブを選択し、特権レベル欄の「管理者としてこのプログラムを実行する」にチェックを

🦣 OpenVPN GUIのプロパティ	×
全般 ショートカット 互換性 セキュリティ 詳細 以前のバージョン	_
プログラムが以前のバージョンの Windows では正常に動作していたのに、このバ ージョンでは問題が発生する場合、以前のバージョンに合った互換モードを選択 してください。 設定の選択に関するヘルプ	
┌互換モード	
□ 互換モードでこのプログラムを実行する:	
Windows XP (Service Pack 3)	
□ 256 色で実行する	
□ 640 × 480 の解像度で実行する	
□ 視覚テーマを無効にする	
🥅 デスクトップ コンポジションを無効にする	
□ 高 DPI 設定では画面のスケーリングを無効にする	
- 特権レベル	
▶ 管理者としてこのプログラムを実行する	
97(Wユニリニの設定を変更	
OK キャンセル 適用(<u>A</u>)	

3 OpenVPN 設定

①エクスプローラで OpenVPN インストールフォルダ配下の config フォルダに移動します。

(デフォルトでは C: ¥Program Files¥OpenVPN¥config となります)

🛵 config			
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に	り(<u>A</u>) ツール(ひ ヘルプ(円)	
G • 🕤 • 🏂 📓 🔑 📴	ידעג 🕐 🛅 מ	C¥Program Files¥Open∨PN¥co	onfig
フォルダ	< 名前 ←		サイズ
	📕 🗐 READN	ME.txt	1 KB
😟 🛅 Documents and Settings			
🖻 🫅 Program Files			
🕀 🛅 Common Files			
ComPlus Applications			
🕀 🛅 Internet Explorer			
🛅 Messenger			
🕀 🛅 Movie Maker			
- Conline Services			
🖻 🛅 OpenVPN			
🛅 bin			
Config			
🛅 driver			
easy-rsa			

②ソフトウェアトップフォルダ中の OpenVPN_conf フォルダ以下の「ca.crt」と「client.ovpn」

を、config フォルダにコピーします。

③管理者 Web サイトより「OpenVPN 鍵ファイル」をダウンロードし、解凍してください。

④「OpenVPN 鍵ファイル」中の「client.crt」と「client.key」を config フォルダの中にコピー

してください。

4 OpenVPN の起動と接続

①デスクトップ上の OpenVPN ショートカットをダブルクリックすると、タスクトレイに

OpenVPN のアイコンが出現します。



②OpenVPN アイコンを右クリックして「接続」を選択します。



③ダイアログが表示されます。

🥐 OpenVPN 接続 (client)	_ 🗆 🗵
現在の状況:接続中	
Thu Nov 11 09:04:27 2010 Socket Buffers: R=[8192->8192] S=[8192->8192]	
Thu Nov 11 09:04:27 2010 TCPv4_CLIENT link local: [undef]	
Thu Nov 11 09:04:27 2010 TCPv4_CLIENT link remote: 210.157.22.232:80	
Thu Nov 11 09:04:27 2010 TLS: Initial packet from 210.157.22.232:80, sid=9b27946c 936d3dcd	
Thu Nov 11 09:04:27 2010 VERIFY OK: depth=1, /C=JP/ST=Tokyo/L=Chiyoda/O=recomot_Inc./OU=moconavi-GrW/	CN
Thu Nov 11 09:04:27 2010 VERIFY OK: nsCertType=SERVER	
Thu Nov 11 09:04:27 2010 VERIFY OK: depth=0, /C=JP/ST=Tokyo/L=Chiyoda/O=recomot_Inc./OU=moconavi-GrW/	CN
Thu Nov 11 09:04:28 2010 Data Channel Encrypt: Cipher 'BF-CBC' initialized with 128 bit key	
Thu Nov 11 09:04:28 2010 Data Channel Encrypt: Using 160 bit message hash 'SHA1' for HMAC authentication	
Thu Nov 11 09:04:28 2010 Data Channel Decrypt: Cipher 'BF-CBC' initialized with 128 bit key	
Thu Nov 11 09:04:28 2010 Data Channel Decrypt: Using 160 bit message hash 'SHA1' for HMAC authentication	
Thu Nov 11 09:04:28 2010 Control Channel: TLSv1, cipher TLSv1/SSLv3 DHE-RSA-AES256-SHA, 1024 bit RSA	
Thu Nov 11 09:04:28 2010 [server] Peer Connection Initiated with 210.157.22.232:80	
	•
₹	▶
切断 再接続 隠す	

④接続が完了するとダイアログが消え、タスクトレイの OpenVPN アイコンが青色に変化します。

マウスカーソルを OpenVPN アイコンに当てると次のように接続状況が表示されます。



【 Proxy 経由での接続の場合 】

①OpenVPN アイコンを右クリックして「プロキシ設定」を選択します。



②次のいずれかを実施して OK をクリックします。下図は手動設定の場合の例です。

- ・「手動設定」にチェックを付け Proxy サーバの IP ならびにポート番号を設定
- ・「Internet Explorer の設定を使用(手動設定)」

🧖 OpenVPN - プロキシ設定	×
○ OpenVPN設定ファイルの設定を使用	
○ Internet Explorerの設定を使用(手動設定)	
⊙ 手動設定	
◎ HTTP プロキシ	
アドレス: 192.168.100.100 ポート: 8080 F 接続時にユーザー名とパスワードを確認する	
○ SOCKS プロキシ	
アドレス: ポート: 「	
OK キャンセル	

5 OpenVPN の切断

タスクトレイ内の OpenVPN アイコンを右クリックして「切断」を選択することにより OpenVPN

が切断されます。



6 OpenVPN の自動起動設定

OpenVPN は Windows サービスとして登録されていますので、次の手順で自動起動設定を行うこ

とにより、OS 起動時に自動接続を行うことが可能です。

①Proxy サーバ経由で接続する場合には、OpenVPN インストールフォルダ配下の

conf¥client.ovpn (デフォルトは C:¥Program Files¥OpenVPN¥conf¥client.ovpn)をメモ帳

等で開き、次の変更を行います。

Proxy 設定

#http-proxy 1.2.3.4 8080 auth.txt basic

#http-proxy 1.2.3.4 8080

#http-proxy-retry

②ファイル最下部 http-proxy ならびに http-proxy-retry の行頭の#を削除します

③Proxy サーバとポート番号を正しいものに変更します

④ファイルを上書き保存します

次は変更後の例です。

Proxy 設定

#http-proxy 1.2.3.4 8080 auth.txt basic

http-proxy 192.168.0.253 8080

http-proxy-retry

Proxy 接続時に認証が必要な場合は、最初の http-proxy 行を有効にします。

さらに、同一フォルダ内の auth.txt に認証用のユーザ名とパスワードを平文で記述します。

OpenVPN でサポートしている認証方式は Basic のみですので、ご注意下さい。

Proxy 設定

http-proxy 1.2.3.4 8080 auth.txt basic

#http-proxy 192.168.0.253 8080

http-proxy-retry

【auth.txt の例】

proxyuser

password

⑤次に、コントロールパネル→管理ツール→サービスにてサービス一覧を表示し、OpenVPN

Service をダブルクリックします。

🍇 サービス						
ファイル(<u>F</u>) 操作(<u>A</u>)	表示(V) ヘルプ(H)					
	3 🕄 🖬 > > =		,			
🇠 サービス (ローカル)	名前 △	説明	状態	スタートアップ	ログオン	
	🍓 Microsoft Software	ボリュ		手動	Local S	
	🆏 Net Logon	ユーザ		手動	Local S	
	🍓 Net.Tcp Port Sharin	Provi		無効	Local S	
	🍓 NetMeeting Remot	権限		手動	Local S	
	🍓 Network Connectio	ネット	開始	手動	Local S	
	🆏 Network DDE	同じコ		手動	Local S	
	🍓 Network DDE DSDM	Dyna		手動	Local S	
	🍓 Network Location	ネット	開始	手動	Local S	
	🍇 Network Provisioni	自動		手動	Local S	
	🍓 NT LM Security Su.	名前		手動	Local S	
	DpenVPN Service			手動	Local S	
	🎭 Performance Logs	あらか		目動	Network	
	🍓 Plug and Play	ユーザ	開始	自動	Local S	
	🍓 Portable Media Seri	Retrie		手動	Local S	
	🆏 Print Spooler	口一力		無効	Local S	
	🍓 Protected Storage	秘密	開始	自動	Local S	
	🍓 Remote Access Au	プログ		手動	Local S	
	🍓 Remote Access Co	ネット	開始	手動	Local S	-
	1441年、東北 11			-7-21		
1)	

⑥スタートアップの種類に「自動」を指定して「OK」をクリックします。

これにより、次回のシステム起動時より OpenVPN が自動接続されます。

(ローカル コンピュータ)	OpenVPN Service のプロパティ	? ×
全般(ログオン)回	復 依存関係	
サービス名:	OpenVPNService	
表示名(<u>N</u>):	OpenVPN Service	
説明(<u>D</u>):		<u>^</u>
実行ファイルのパス() C:¥Program Files	_): _): (x86)¥Open∨PN¥bin¥open∨pnserv.exe	
スタートアップの 種類(E):	自動	
	停止	
開始(2)	停止(1) 一時停止(2) 再開(12)	
ここでサービスを開始	するときに適用する開始パラメータを指定してください。	
開始パラメータ(<u>M</u>):		
	OK キャンセル 適用	<u>1(A)</u>

7 アダプタ稼動設定

次の手順によりアダプタの起動設定を行います。

①JDK インストール

ご利用の OS のビット数に合わせて CD 内の jdk-6u17-windows-i586.exe(32bit の場合)あ

るいは jdk-6u17-windows-x64.exe(64bit の場合)をダブルクリックします

②使用許諾に同意します

🛃 Java(TM) 🕄	SE Development Kit 6 Update 17 - ライセンス	×
رنج آیا Java	使用許諾契約 次の使用許諾契約書を注意深くお読みください。	Sup.
Sun Microsy for the JAVA	rstems, Inc. Binary Code License Agreement SE DEVELOPMENT KIT (JDK), VERSION 6	-
SUN MICRO SOFTWARE THAT YOU A CODE LICEI (COLLECTIN CAREFULLY YOU HAVE AGREEING LEGAL ENT AUTHORITY	SYSTEMS, INC. ("SUN") IS WILLING TO LICENSE IDENTIFIED BELOW TO YOU ONLY UPON THE C ACCEPT ALL OF THE TERMS CONTAINED IN THIS NSE AGREEMENT AND SUPPLEMENTAL LICENSI /ELY "AGREEMENT"). PLEASE READ THE AGREE Y. BY USING THE SOFTWARE YOU ACKNOWLED READ THE TERMS AND AGREE TO THEM. IF YOU TO THESE TERMS ON BEHALF OF A COMPANY ITY, YOU REPRESENT THAT YOU HAVE THE LEG Y TO BIND THE LEGAL ENTITY TO THESE TERMS.	THE ONDITION E BINARY E TERMS EMENT OGE THAT U ARE OR OTHER GAL IF YOU DO
	同意しない(D) 同意する(A) >	

🚰 Java(TM) SE Development Kit 6 Update 17 - カスタムセットアップ × <u>چ</u> カスタムセットアップ Sun. インストールするプログラムの機能を選択してください。 Java 下のリストにあるアイコンをクリックして機能のインストール方法を変更してください。 機能の説明 Java の public API を構成する クラスのソースコード。ソースコ ードをインストールするには、49 MB の空き容量が必要です。 ┌── 開発ツール - -デモとサンブル 🖅 ソースコード 💷 🖌 公開 JRE 🗙 🚽 Java DB インストール先: 変更(C). < 戻る(B) 次へ(N)> キャンセル







④ファイルの配置

ソフトウェアトップフォルダ内の KDDI Remote Sync フォルダを任意の場所にコピーします。

以下では、C:¥Program Files¥KDDI Remote Sync にコピーしたものとして記述します。

⑤KDDI Remote Sync¥bin¥env.bat をメモ帳で編集します

④でコピーしたフォルダが C:¥Program Files¥KDDI Remote Sync 以外の場合は

APP_HOME ならびに GrW_BIN の値を変更します。

set APP_HOME=C: ¥Program Files ¥KDDI Remote Sync¥gateway ¥WEB-INF

set GrW_BIN="C:¥Program Files¥KDDI Remote Sync¥bin"

⑥KDDI Remote Sync¥bin¥Run.bat をメモ帳で編集します

Run.batの内容は次のとおりです。必要に応じて次の項目を編集します。

@echo off
set GrW_BIN="C:¥Program Files¥ KDDI Remote Sync ¥bin"
cd /d %GrW_BIN%
rem call POPAdapter.bat 40000 75
rem ping localhost -n 2 > nul
rem echo POPAdapter をポート 40000 で起動しました
rem call ExchangeAdapter.bat 40010 75
rem ping localhost -n 2 > nul
rem echo ExchangeAdapter をポート 40010 で起動しました
rem call NotesAdapter.bat 40020 75
rem ping localhost -n 2 > nul
rem echo NotesAdapter をポート 40020 で起動しました
rom call IMARAdaptor bat 40030.75
rem ping localhost $-n 2 > null$
rem echo IMAPAdapter をポート 40030 で記動しました
echo
echo 二 注意 二
echo
echo このウインドウは閉じないで下さい
echo
echo

⑦フォルダ名修正

ソフトウェアトップフォルダからコピーしたフォルダが C:¥Program Files¥ KDDI Remote

Sync 以外の場合は GrW_BIN の値を変更します。

8 アダプタ起動設定

ご利用のサービス(POP/Exchange/Notes/IMAP)に関する部分に対して次の編集を行います。

①アダプタ実行・ping 実行・echo の各行冒頭の rem を削除

ご利用しないサービスの行は rem を残したままにしてください。

②ポート番号を変更

ポート番号は、管理者 Web サイトの「Adapter ポート番号」よりダウンロードしてください。

次は POP をご利用の場合の変更例です。

call POPAdapter.bat 40000 75

ping localhost -n 2 > nul

echo POPAdapter をポート 40000 で起動しました

アダプタ起動

Windows7/Windows Server 2008 R2 の場合は、アダプタを起動する前に次項の Windows フ

アイアウォール設定を行ないます。

上記以外の OS の場合はエクスプローラから Run.bat をダブルクリックすることにより、アダプ

タが起動します。

アダプタのプロセス名は java.exe となります。

9 Windows ファイアウォール設定

Windows7/Windows Server 2008 R2 の場合は Windows ファイアウォール設定を行ない

ます。

以下の画面は Windows Server 2008 R2 のものですが、Windows7 も同様です。

① ファイアウォール設定画面を開きます



② 通知設定の変更をクリックし、全てのネットワークの場所に対して「Windows ファイ

アウォールが新しいプログラムをブロックしたときに通知を受け取る」のチェックを付

けて OK をクリックします。



通知設定変更後の状態です。



③ アダプタを起動します

エクスプローラから Run.bat をダブルクリックしてアダプタを起動します。

ファイアウォールによるプログラムブロックのダイアログが表示されますので、全ての

チェックボックスにチェックを付けて「アクセスを許可する」をクリックします。

💮 Windows セキュリティの重要な警告	×
このブログラムの機能のいくつかが Windows ファイアウォールでブロックされて	こいます
すべてのパブリック ネットワークとプライベート ネットワークで、Windows ファイアウォールにより Jav binary の機能のいくつかがブロックされています。 名前(<u>N</u>): Java(TM) Platform SE binary 発行元(<u>P</u>): Sun Microsystems, Inc. パス(<u>H</u>): C:¥program files¥java¥jdk 1.6.0_17¥bin¥java.ex	va(TM) Platform SE
Java(TM) Platform SE binary にこれらのネットワーク上での通信を許可する: ア プライベート ネットワーク (ホーム ネットワークや社内ネットワークなど)(<u>R</u>)	
▶ パブリックネットワーク(空港、喫茶店など)(非推奨)(U) (このようなネットワークは多くの場合、セキュリティが低いかセキュリティが設定されています)	ŧы
プログラムにファイアウォールの経由を許可することの危険性の詳細	
アクセスを許可する(A) キャンセル

④ 次に、Windows ファイアウォール設定画面を開いて詳細設定→受信の規則と進み、次

のように 2 個の Java(TM) Platform SE binary が有効となっていることを確認します。

🕑 Java(TM) Platform SE binary		プライベート	はい
🕑 Java(TM) Platform SE binary		プライベート	はい
🕖 BranchCache コンテンツ取得 (HTTP-受信)	BranchCache – コンテンツ取得…	すべて	いいえ

通知設定変更

通知設定を変更前の状態に戻します。

10コネクタ稼動設定

Exchange サービスをご利用いただく場合には、「8. アダプタ稼動設定」の後に次の手順に よりコネクタの設定を行います。コネクタの動作には.NET Framework 2.0 SP2 ならび に.NET Framework 3.5.1 の両方が必要となりますので、必要に応じてインストールある いは機能の有効化を行って下さい。言語パックは必須ではありません。

① ファイルの配置

ダウンロードファイル内の ExchangeConnector フォルダを任意の場所にコピー

します。

以下ではコピー先が C:¥Program Files¥ExchangeConnector として記述します。

コマンドプロンプトを開きます

Windows7/Windows Server 2008 R2 の場合は、下図のようにコマンドプロンプ

トを「管理者として実行」で開きます。



③ サービス登録

次のコマンドでコネクタサービスを登録します。

コネクタのプログラム名は ExchangeClientService.exe です。

sc create ExchangeConnector binpath= "C:¥Program

Files¥ExchangeConnector¥ExchangeClientService.exe"

* binpath= の後は空白ですのでご注意下さい

④ コネクタサービスを設定します

1) コントロールパネル→管理ツール→サービスにサービス一覧を表示して WebDAV

をダブルクリックします

(ローカル コンピュータ)	ExchangeConnector のプロパティ	? ×
全般 ログオン 回行	复 依存関係	
サービス名:	ExchangeConnector	
表示名(<u>N</u>):	ExchangeConnector	
兑8月(<u>D</u>):		* *
実行ファイルのパス(L C:¥Program Files¥B): ExchangeConnetcor¥ExchangeClientService.exe	_
スタートアップの 種類(E):	手動	•
サービスの状態	停止	
開始(5)	停止(1) 一時停止(2) 再開(3)	
ここでサービスを開始	するときに適用する開始パラメータを指定してください。	
開始パラメータ(<u>M</u>):		-
	OK キャンセル 適	用(<u>A</u>)

(ローカル コンピュータ)	WebDAV のプロパティ	? ×
全般 ログオン 回行	复 依存関係	
サービス名:	WebDAV	
表示名(<u>N</u>):	WebDAV	
[说8月(<u>D</u>):		 ▼
実行ファイルのパス(<u>H</u> C:¥Program Files¥\): VebDAV¥ExchangeClientService.exe	_
スタートアップの 種類(<u>E</u>):	自動	
サービスの状態:	停止	
開始(5)	停止(1) 一時停止(2) 再開(12)	
ここでサービスを開始	するときに適用する開始パラメータを指定してください。	
開始パラメータ(<u>M</u>):		
	OK キャンセル 適用	<u>1(A)</u>

2) スタートアップの種類を「自動」に指定して「適用」をクリックします

3) ログオンタブを選択します

(ローカル コンピュータ)	ExchangeConnector のプロパティ	? ×
全般 ログオン 回復	夏 依存関係	
サービス:名:	ExchangeConnector	
表示名(N):	ExchangeConnector]
[捝8月(<u>D</u>):		
実行ファイルのパス(<u>H</u> C:¥Program Files¥E): ixchangeConnetcor¥ExchangeClientService.exe	-
スタートアップの 種類(<u>E</u>):	自動	
サービスの状態:	停止	
開始(S)	停止(T) 一時停止(P) 再開(P)]
ここでサービスを開始す	するときに適用する開始パラメータを指定してください。	
開始パラメータ(<u>M</u>):		
	OK キャンセル 適用(4	v I

4) 実行アカウントを設定します

アカウントにチェックを付け、それぞれ次の指定を行ったのちに OK をクリックしま

す。

アカウント NT AUTHORITY¥NetworkService

パスワード 空白

(ローカル コンピュータ)Excha	ngeConnector のプロパティ	? ×
全般 ログオン 回復 依	存関係	
ログオン・		
〇 ローカル システム アカウン	νFΨ	
□ デスクトップとの対話を	モサービス(ご許可()))	
⑦ アカウント(T):	NT AUTHORITY¥NetworkService 参照(B)	
パスワード(<u>P</u>):		
パスワードの 確認入力(<u>C</u>):		
以下のハードウェア プロファイル	ルに対しこのサービスを有効または無効にできます(<u>Y</u>):	
ハードウェア プロファイル	サービス	I
Current	有効	
,		
	OK キャンセル 適用(A)

5) ログフォルダの権限設定

エクスプローラにて C:¥Program Files¥ExchangeConnector¥Logs を右クリック

し、プロパティを表示します

Logsのプロパティ		? ×
全般 共有	セキュリティ Web 共有 カスタマイズ	
\square	Logs	
種類	ファイル フォルダ	
場所:	C:¥Program Files¥ExchangeConnetc	or
サイズ:	977 KB (1,000,708 バイト)	
ディスク上 のサイズ:	984 KB (1,007,616 /(イト)	
内容:	ファイル数: 8、フォルダ数: 0	
作成日時:	2012年3月20日、13:50:21	
属性	□ 読み取り専用(R) □ 隠しファイル(H)	詳細設定(0)
	OKキャンセノ	 ル 適用(<u>A</u>)

6) セキュリティタブを選択します

Logsのプロパティ		? ×
全般 共有 セキュリティ カスタマイズ		
グループ名またはユーザー名(G):		
Munistrators (S2K3SP2BASE¥	Administrators)	
CREATOR OWNER		
🗾 🙍 Power Users (S2K3SP2BASE¥Po	ower Users)	
M SYSTEM		_
TEDMINIAL CEDVED LICED		
	追加(<u>D</u>)	削除(<u>R</u>)
Administrators のアクセス許可(<u>P</u>)	許可	
フル コントロール	\checkmark	
変更	~	
読み取りと実行	~	
フォルタの内谷の一覧表示	~	
	×	
	·	
特殊なアクセス許可または詳細設定を表 細設定]をクリックしてください。	示するには、「詳 ―	詳細設定♡
ОК	キャンセル	適用(<u>A</u>)

7) 追加をクリックします

ユーザー または グループ の選択		? ×
オブジェクトの種類を選択してください(<u>S</u>): ユーザー、グループ または ビルトイン セキュリティ プリンシパル		オブジェクトの種類()
場所を指定してください(<u>F</u>): S2K3SP2BASE		場所(L)
選択するオブジェクト名を入力してください(<u>例</u>)(E):		
		名前の確認(C)
詳細設定(<u>A</u>)	OK	======================================

8) 詳細設定をクリックします

ユーザー または グループ の選択	? ×
オブジェクトの種類を選択してください(<u>S</u>): <mark>ユーザー、 グループ または ビルトイン セキュリティ プリンシパル</mark> 場所を指定してください(E):	オブジェクトの種類(②)
S2K3SP2BASE	場所(_)
, 共通クエリ	
名前(曲): 次の文字で始まる 💌	列(<u>C</u>)
説明(D): 次の文字で始まる 🔽	今す(*検索(<u>N</u>)
■ 無効なアカウント(B) ■ 無期限のパスワード%)	中止①
前回ログオン時からの日数型:	-
名前 (RDN) フォルダ	

9) 今すぐ検索をクリックします

ユーザー または グノ	レープ の選択		? ×
オブジェクトの種類を コーザー、グループ	E選択してください(<u>S</u>): または ビルトイン セキ	テュリティ プリンシパル	オブジェクトの種類()
S2K3SP2BASE	ent <u>e</u> r		場所(1)
共通クエリ 名前(<u>A</u>): 次(の文字で始まる 💌		
説明 <u>(1)</u> 「無効なアカ [*] 「無期限のパ 前回ログオン時	が文子で始まる ♪ フント(B) スワード⊗) からの日数の: 「		
	,		
検索結果(山):			**727
名前 (RDN)	フォルダ		_
Guest	S2K3SP2BASE		
Guests	S2K3SP2BASE		
	SZK3SPZBASE		_
LOCAL SERV.			
NETWORK			
🙍 Network Conf	S2K3SP2BASE		
METWORK S			
Performance	S2K3SP2BASE		
Performance	S2K3SP2BASE		–

10) NETWORK SERVICE を選択して OK をクリックします

ユーザー または グループ の選択	? ×
オブジェクトの種類を選択してください(<u>S</u>): ユーザー、 グループ または ビルトイン セキュリティ プリンシパル	オブジェクトの種類()
場所を指定してください(<u>F</u>):	
S2K3SP2BASE	場所(L)
選択するオブジェクト名を入力してください(例)(E):	
NETWORK SERVICE	名前の確認(C)
詳細設定(<u>A</u>) OK	++>U

11) さらに OK をクリックします

Logsのプロパティ		? ×
全般 共有 セキュリティ カスタマイズ]	
グループ名またはユーザー名(<u>G</u>):		
Administrators (S2K3SP2BASE¥/	Administrators)	-
CREATOR OWNER		
METWORK SERVICE		
🗾 🕵 Power Users (S2K3SP2BASE¥Po	wer Users)	_
	追加(0)	削除(<u>R</u>)
NETWORK SERVICE のアクセス許可 * (P)		 拒否
די בארב אר		
変更		
読み取りと実行		
フォルダの内容の一覧表示		
読み取り		
	<u>L</u>	그는 그
特殊なアクセス許可または詳細設定を表示 細設定] をクリックしてください。	示するには、信羊 ―	詳細設定♡
ОК	キャンセル	適用(<u>A</u>)

Logsのプロパティ			? ×
全般 共有 セキュリティ カスタマイズ]		
グループ名またはユーザー名(<u>G</u>):			
Administrators (S2K3SP2BASE¥A	dministrators)		
CREATOR OWNER			
METWORK SERVICE			
Power Users (S2K3SP2BASE¥Pov	ver Users)		-
Γ	追加(<u>D</u>)	削除(<u>R</u>)	
NETWORK SERVICE のアクセス許可 一 (<u>P</u>)	許可	 拒否	
フル コントロール			
変更			
読み取りと実行	\checkmark		
フォルダの内容の一覧表示			
読み取り			
書き込み			-
特殊なアクセス許可または詳細設定を表示 細設定] をクリックしてください。	そする(こは、「『羊 _	詳細設定心	
ОК	キャンセル	適用	(<u>A</u>)

12) フルコントロールにチェックを付けて OK をクリックします

13) ExchangeConnector サービスを開始します

Logs フォルダ直下に Exchange.log が作成されていれば設定は成功です。

11 トラブルシューティング

OpenVPN・アダプタ・コネクタ設定時にトラブルが発生した場合は、以下の内容を確認し

てください。

- ① OpenVPN が接続できない
 - ・手動接続の場合「管理者として実行」しているか?(Windows7/2008R2の場合)
 - ・Proxy 設定は正しいか? (認証は Basic のみ対応)
 - ・サービスと手動で重複接続を行っていないか?

⇒両方切断し、どちらか一方で接続を実施してください

- ② アダプタ・コネクタが起動しない
 - ・KDDI Remote Sync あるいは ExchangeConnector フォルダに対して Users

で書き込みができるか? (Windows7/2008R2 の場合)

⇒Users のグループに対して書き込み権限を追加してください

③ OpenVPN が接続でき、アダプタが起動しているにもかかわらず、端末から接続す

ると「Gateway への接続に失敗しました」となる

・Windows FireWall が有効の場合は Java Platform SE binary を許可している

か?

上記で解決しなかった場合は、以下の情報を準備いただいたうえで法人お客さまセンターまで お問い合わせください。

□ 準備いただく情報

・ OpenVPN のログ(C:¥Program Files¥OpenVPN¥log¥client.log)
 手動/サービスを問わず接続を行うとログがクリアされるため,接続できない状態で
 ログファイルを別に保存するなどの処置が必要です。
 ・ アダプタのログ(C:¥Program Files¥KDDI Remote Sync¥Logs¥*Adapter-nnnn.log)
 当日分のログには日付が付きませんが、前日以前のログには .log の後に .YYYY-MM-DD が

付加されます。

以上